

フッ素樹脂製フレキシブルホース

取扱説明書



ニッシンコーポレーション株式会社

〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江5丁目8番30号

TEL (06)6426-2000

FAX (06)6424-2077

(平成18年)2006年5月改

目次

1. まえがき
2. 使用上の注意
3. 取り付け時の注意
4. 保管上の注意
5. その他の注意

まえがき

この度は、当社のフッ素樹脂製フレキシブルホースをご購入いただきまして誠にありがとうございます。

当製品を正しくご使用いただくため、ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。

尚、お読みになった後は、必要なときにすぐ使えるよう手近な所で大切に保管してください。

フッ素樹脂製フレキシブルホースは、フッ素樹脂の優れた諸特性に加えて、メタルホースを上回る耐候性、耐久性を持ち、曲げ半径が小さく優れた柔軟性を発揮します。高純度薬品の供給ラインはもとより、広範な工業分野での配管材料としてご利用いただけます。

ご使用に際して不都合な点又はご不明な点等ございましたら、当社営業部（〈本社・尼崎〉06-6426-2000、〈東京〉03-3258-4971、〈九州〉093-681-7203）までお問い合わせください。

使用上の注意

- ① 製品をご使用になる前に外面損傷の有無を確認してください。損傷が認められる場合は使用せず、購入元へご連絡ください。
- ② 取付先設備の最高使用圧力及び最高使用温度が、各製品の使用範囲内であることを確認してください。
使用範囲外でのご使用は、変形や漏れ等の原因になりますのでおやめ下さい。
各製品の使用範囲については当社フッ素樹脂ホース総合カタログ(*1)をご覧ください。
- ③ 製品は、誤動作によって破損する恐れがありますので、運転時には必ず取付先設備に設けられたバルブの開閉を確認してください。
- ④ ゴム被覆により補強した製品を使用する場合は、ゴムに酸やアルカリ等腐食性の強い物質が付着しないよう注意してください。万一、付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
- ⑤ SUSブレード被覆により補強した製品を使用する場合は、ブレードのほつれ等がチューブを傷つけたり、手を傷つける恐れがありますので、定期的に点検し、損傷や腐食が認められる場合は使用しないでください。
- ⑥ 製品の両端は特に応力が掛かりやすい為、押さえつけたり、ねじる等の乱暴な使用は避けてください。
また、先端にカプラーを接続して使用する場合には、カプラーを支持してまっすぐに脱着してください。
- ⑦ フッ素樹脂は帯電性が高い物質なので、ホース内に静電気が帯電して不具合を起こす場合があります。異常が発見された場合は、直ちに使用をやめてください。
- ⑧ 移動容器(コンテナ等)の付属品として使用する場合、使用後は収納ボックス等に適切に保管し、コンテナ移動中にホースに負荷がかからないようにしてください。
- ⑨ 振動機周りでのご使用は避けてください。

(*1) フッ素樹脂ホース総合カタログに掲載している数値は、静止状態での測定データに基づく参考値であって、全ての運転条件に対して製品性能を保証するものではありません。

取り付け時の注意

- ① フッ素樹脂製フレキシブルホースは、加圧により数%長さが増えます。取り付けの際は、製品を引っ張った状態または余裕の無い状態で取り付けないでください。
- ② 製品をねじ曲げたり、無理に湾曲しないでください。小さな曲がり部にはエルボ等を使用し、許容曲げ半径以上で取り付けてください。
各製品の許容曲げ半径については当社フッ素樹脂ホース総合カタログ(*1)をご覧ください。
- ③ 製品寸法が長い場合は、製品自重が両端の金具に集中しないよう適宜サポート等を設けてください。
- ④ ネジ継手に接続する場合は、製品がねじれないように先端継手をスパナやレンチ等でしっかり固定して締め付けてください。製品がねじれた状態で取り付けられると寿命が著しく低下し、損傷につながります。また、必ずネジ山にシールテープを巻いてから締め付けてください。
- ⑤ 樹脂製の先端継手は、金属製のものに比べて傷つきやすいため、締め付ける際にウェス等で養生してください。
また樹脂製ネジを使用する場合、耐圧力機能は低下するので、0.2Mpa以内での範囲でご使用ください。
- ⑥ フランジで製品を接続する場合は、フレア面に傷や汚れがないことを確認し、洗浄液を浸み込ませたウェス等でフレア面を拭いてから取り付けてください。
- ⑦ 取り付け後は、ネジ・ボルトに緩みがないか定期的に確認してください。
- ⑧ 万一、製品使用中に液が漏れ、増し締めしても液漏れが止まらない場合には、チューブが破損している恐れがありますので直ちに使用を中止し、当社へご連絡ください。

保管上の注意

- ① 製品に荷重をかけないでください。
- ② 運搬中・保管中は、できるだけ製品を真っ直ぐな状態に保つか、または、許容曲げ半径以上で製品を巻いた状態にしてください。
- ③ 長期間保管する場合は、冷暗所に移動してください。
- ④ 雰囲気温度40℃以上または水分のある場所で長期間保管しないでください。
- ⑤ 製品に火気が当たらないよう注意してください。

その他の注意

- ① 本取扱説明書は、当社製品を安全に使用していただくためにまとめたものであり、完全に不具合の発生をなくすものではありませんのでご了承ください。
- ② 製品のご使用にあたっては、定期的な目視検査や気密検査等の日常点検を実施し、異常が発見された場合は直ちに使用を止め、購入元へご連絡ください。